

< 新規受託項目のお知らせ >

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、新たに下記項目の検査受託を開始することとなりました。
取り急ぎご案内させていただきますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

《実施日》

2020年 9月 1日（火）受付分より

《新規受託項目》

[2930] ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン (LRG)

ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン (Leucine-rich alpha 2 glycoprotein : LRG)は、ロイシンリッチリピート構造と呼ばれるドメインを8つ含む約50kDaの糖蛋白質で、炎症局所で産生される新規炎症性マーカーです。

特に潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患 (Inflammatory bowel disease : IBD) においては内視鏡検査による疾患活動性と相関することから、侵襲性の低い血液検査で簡便かつ適切に疾患活動性を評価することが可能となります。臨床指標とCRPおよびLRGの組み合わせ測定は単独測定より活動期の判定補助に有用です。

※ 検査要項は裏面に掲載しております。

《検査要項》

項目名	ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン (LRG)
項目コード	2930
検体/保存	血清 0.4 mL / 冷蔵
容器	容器番号 1 (生化学用採血管)
検査方法	LA法
基準値 *1	16.0 μ g/mL未満 (炎症性腸疾患の活動期の判定補助における参考基準値) ※健常者参考値 : 6.48~13.92 μ g/mL
所要日数	4~9日
検査実施料	276点 *2,3
判断料	144点 (生化学的検査(I)判断料)
検査機関	LSIメディエンス

● 留意事項

- *1 : 感染症、リウマチ等の炎症性疾患、一部の悪性腫瘍においてLRG値が上昇することがありますのでご注意ください。
- *2 : LRGを潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として測定する場合は、3月に1回を限度として算定できます。ただし、医学的な必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載してください。
- *3 : 潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として、「D003」糞便検査「9」のカルプロテクチン(糞便)又は「D313」大腸内視鏡検査を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定できます。